令和2年度行政評価 事務事業評価シート（令和元年度実績）

事務事業コード	030502010	予算コード	02050310	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点
事務事業名	保健医療事業			正規職員数	0.13	国庫支出金	0	有効性	B
担当課	国保年金課			嘱託職員数	0	府支出金	21,673		
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	0.03	市債	0	効率性	B
	■法律・政令・省令　■条例・規則			歳出（千円）		その他	222		
	国民健康保険法、泉佐野市国民健康保険条例			人件費総額	1,122	一般財源	4,656	妥当性	A
						減価償却費	0		
						事業費	25,429	受益者負担	B
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			26,551	緊急性	B
実施手法	全部委託			市民1人当りコスト（円）			264		
対象				活動指標		R元実績		公的関与	A
特定の市民		対象数	20710	人間ドック受診者		415.0			
国保被保険者				脳ドック受診者		93.0		実施主体・委託化	B
事業の内容				医療費通知送付回数		6.0			
保健医療事業として、人間ドック（30歳以上：本人負担13,000円）、脳ドック（40歳以上被保険者：本人負担15,000円）の実施、基本健診（15歳以上40歳未満）：本人負担1,000円、医療費通知の実施をしている。				基本健診（１５歳以上４０歳未満）受診者数		163.0		他の事務事業との関連	A
				成果指標		R元実績		透明性	C
				人間ドック受診者		415.0			
				脳ドック受診者		93.0		財政健全化計画	該当なし
				医療費通知送付数		66,169.0			
				基本健診（１５歳以上４０歳未満）受診者数		163.0		財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標		R元実績		改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				一人あたり人間ドック費用額		37,600.0			
国保法第８２条に規定する健康教育、健康相談、健康診査その他の必要な事業を行い、被保険者の健康保持増進を図る。医療費通知については、昭和５５年の厚生省通知により被保険者に健康に対する認識を深めていただくことを目的とする。				一人あたり脳ドック費用額		35,760.0			
				一人あたり基本健診費用額		5,142.0			

一次評価	B
医療費の適正化を図るためには事業の拡大が必要となるが、それに伴い費用も増加するため、現状の中でより効果的な方法を検討する。	

事務事業実施内容
人間ドック・脳ドック、基本健診（15歳以上40歳未満）、医療費通知の実施